

区分・種別	県指定史跡		
名称	あさひやまこふん 朝日山古墳		
所在地	四国中央市金田町		
所有者	鈴木 尚	管理団体	
指定年月日	昭和43年3月8日		
解説	<p>朝日山古墳は、松山自動車道三島川之江インターチェンジの東南約900m、標高約170mの丘陵尾根上に築造されている。墳丘直径17m、高さ4.5mの円墳で、横穴式石室が東南に向けて開口している。石室全長7.0m、^{げんしつ}玄室は長さ4.5m、幅1.8m、高さ2.2m、^{せんどう}羨道部は長さ2.5m、幅1.6m、高さ1.4mである。^{りょうそで}両袖式石室で下半分は結晶片岩の割石を垂直に立て、その上は小形の石を持ち送りにして次第に狭く積み上げている。奥壁は一枚石を使用し極めて美しく構成している。^{げんもん}玄門部より羨道口にかけて急角度で上がり、入口が狭くなっている。玄門の両側及び羨道の入口両側に石柱を立てている。</p> <p>この古墳は築造当時の原形をほぼ保っており、石室構造等からみて7世紀ころのものと推定されている。</p>		

